

第3回 横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会

日時：令和4年11月14日（月）

午後1時～3時

場所：金沢区総合庁舎 5階1号会議室

議事次第

1 開会

2 議事

- (1) 第2回委員会での議論内容の確認
 - ・第2回委員会の振り返り
 - ・第2回委員会議事録（案）の確認
- (2) 基本的な方向性について
- (3) 施設機能・構成について
- (4) 金沢区区民文化センターニュース第3号（案）について

3 事務連絡

4 閉会

資料目次

資料1	第2回委員会での議論内容の確認 1.第2回振り返り／2.第2回 横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会 議事録（案）
資料2	基本的な方向性について 1.コンセプト（めざす姿）／2.重視する視点／3.望ましい機能／4.事業（施設）運営の方向性
資料3	施設機能・構成について 1.施設全体の考え方／2.各諸室の考え方
資料4	金沢区 区民文化センターニュース 第3号（案）
別紙1	答申構成について
—	金沢区 区民文化センターニュース 第2号

●第2回委員会での議論内容の確認

1 第2回委員会の振り返り

(1) 全体に関する内容

資料の構成等に関する意見

- ・ 「重視する視点」「望ましい機能」「事業（施設）運営の方向性」は、関連性を示した形で、一体的に整理できないか。（三輪委員）
- ・ 「望ましい機能」の整理について、ヒエラルキーを持った整理ができないか。（三輪委員）
- ・ 「望ましい機能」と「事業（施設）運営の方向性」は、並列の整理でなく、直列の整理になるのではないか。（津軽石委員）
- ・ 「重視する視点」と「望ましい機能」の整合性を持った整理を再度検討してほしい。（津軽石委員）
- ・ 「事業（施設）運営の方向性」の整理は再精査し、項目順などでヒエラルキーが分かる整理とすべき。（三輪委員）

コンセプトに関する意見

- ・ 具体的にどうまちを開くのかが見えにくいいため、特に1階部分については具体的に読み取れるまとめ方をしてほしい。（鈴木(伸)委員長）

(2) 重視する視点について

社会的^{ほうせつ}包摂（ソーシャルインクルージョン）

- ・ 視点3は、多様な人々が参加・参画することも視野に入れた表現に改めるべき。（赤江委員）

(3) 金沢区における区民文化センターに「望ましい機能」について

情報発信に関する意見

- ・ 金沢区の歴史や文化を視覚的かつ体験的に発信する仕掛けは効果的だと思う。（鈴木(達)委員）
- ・ 歴史文化に限らない、金沢区らしさまで広げた視点での情報発信。（浅葉委員）
- ・ 通りすがりの人など、外部に向けて発信するコンテンツ（例えば壁面を使った演出等）も考え得る。（津軽石委員）

受付機能に関する意見

- ・ 職員方の日常の打合せや来訪者の相談等に用いるスペースは非常に大切に、単なる貸館の受付だけでないことを望ましい機能として位置づけておくべき。（三輪委員）

交流機能や屋外スペースに関する意見

- ・ 単なるイベント等への利用だけでなく、通りすがりの人々の受け皿（とまり木）となる機能であることが大事である。（三輪委員）

- ・ カフェのような機能は、打合せや展示、交流等の機能を兼ねられ、今回の候補地は面積的にも非常に限られていることから、機能をオーバーラップさせた考え方を示しておくべき。
(鈴木(伸)委員長)

その他

- ・ 専門人材の配置や利用者・利用団体の文化レベルアップなどに通じる機能が表現されたら良いのではないか。(津軽石委員)

(4) 事業（施設）運営の方向性について

連携に関する意見

- ・ 区内に留まらない広い視野での連携を考えてもよいのではないか。(赤江委員)
- ・ 他施設との機能の補完という連携は必要。(赤江委員)
- ・ 具体性を持った記載内容の方が連携のイメージがしやすい。(北原委員)

センター機能に関する意見

- ・ 新しい区民文化センターの検討と合わせて、周辺の文化施設の在り方も検討していくべき。
(赤江委員)

専門人材に関する意見

- ・ 施設間をつなぐ役割も兼ね備えたコーディネーター人材が必要ではないか。(赤江委員)
- ・ 音響や照明等の専門家人材を配置できるとよい。(阿部委員)

自主企画に関する意見

- ・ 自主企画は、区民文化センターの魅力や価値、特徴を生む大事な要素であり、重要視すべき。
(北原委員)

施設管理者と利用者との交流に関する意見

- ・ 施設管理者と利用者との交流、利用者と共に育っていく施設運営の在り方もあるのではないか。(津軽石委員)
- ・ 施設職員と利用者の交流の場を提案したい。(阿部委員)

(5) 答申の構成案について

- ・ 区民意見のアンケート結果については、検討のデータとして整理して、答申の資料構成に含めるべきではないか。(三輪委員)
- ・ ある程度の各諸室の規模感は、望ましい想定でも構わないので示しておいた方が良いのではないか。(鈴木(伸)委員長)

2 第2回 横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会 議事録（案）

第2回 横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会 会議録	
日 時	令和4年10月21日（金） 13時～15時
開催場所	金沢区総合庁舎 5階1号会議室
出席者	<p>【委員】 赤江直美委員、浅葉弾委員、阿部きみえ委員、北原まどか委員、鈴木達洋委員、鈴木伸治委員長、津軽石昭彦委員、三輪律江委員、横井正巳委員 （9名中9名、委員は五十音順）</p> <p>【事務局】 金沢区副区長、金沢区区政推進課長、金沢区地域振興課長、文化観光局文化振興課、株式会社山手総合計画研究所 ほか関係職員</p>
欠席者	なし
開催形態	公開（傍聴者2名、報道1名）
議題	<ol style="list-style-type: none"> 第1回委員会での議論内容の確認 基本的な方向性について 答申構成案について 金沢区区民文化センターニュース第2号（案）について
決定事項	<ol style="list-style-type: none"> 第1回委員会の議事録 ニュース2号（案）
議 事	<p>1 開会</p> <p>副区長挨拶 本日は、委員の皆様方にはご多忙のところ、ご出席いただきましてありがとうございます（金沢副区長） ございます。第1回委員会においては、活発なご議論ありがとうございました。単なる貸館ではなく、金沢区らしい施設整備を目指していきたいと考えております。本日も活発なご議論を頂戴したく存じます。どうぞ、よろしくお願いいたします。</p> <p>区政推進課長 本日の資料確認（資料1・資料2・資料3・資料4）</p> <p>2 議事</p> <p>区政推進課長 まずは議事の1、<u>第1回委員会での議論内容の確認</u>について、事務局から資料の説明をします。</p> <p>事務局 <u>資料1</u>について説明</p> <p>鈴木委員長 いま説明いただいた<u>第1回委員会の振り返りと議事録案</u>については、ご自身の発言を中心にご確認いただき、修正が必要でしたらご発言ください。</p> <p>一 同 （意見なし）</p> <p>鈴木委員長 「第1回委員会の議事録」については、案のとおりと決定してよろしいでしょうか。</p>

一 同 (異議なし)

鈴木委員長 それでは、運営要綱 第4条第2項の規定により、過半数の承認がありましたので、「第1回委員会の議事録」については、案のとおりで決定いたします。これは後日、区役所のウェブページで公表されます。

鈴木委員長 それでは、議事の2 金沢区における区民文化センター整備の基本的な方向性について、に移ります。事務局から資料の説明をお願いします。

事務局 [資料2]について説明

鈴木委員長 いま説明いただいた基本的な方向性については、前回委員会の続きになります。前回は『重視する視点』については決めました。区民文化センターに『望ましい機能』『事業(施設)運営の方向性』については、前回意見交換したものを資料に反映させてもらっています。本日はこのふたつについては決めていき、金沢区における区民文化センター整備の基本的な方向性についてのコンセプト、めざす姿を決めていきたいと思います。

鈴木委員長 区民文化センターに『望ましい機能』について、議論に移ります。いかがでしょうか。

鈴木(達)委員 前回の議論で、区民文化センターは人が集まってくるとか、情報把握のハブ的な役割とかの話があった。具体的な提案まではどうか分からないが、ジオラマプロジェクションマッピングという仕掛けを鎌倉歴史文化交流館で見してきた。非常に面白い取組みだと感じた。例えば、金沢では六浦や切通し等の歴史、新田開発の歴史、別荘地としての歴史等、色々なコンテンツが作れるのではないかと。津波等の災害の歴史についても、ハザードマップにつなげて情報発信できるのではないかと。

金沢区を大枠で知りたい時に、あの場所にあんなのあったねと思い出してもらえるような仕掛けがあると良い。

また、イラスト・画像と人を認知するセンサーと組み合わせて、遊べるような仕掛けをやっている事例があるが、小さな子どもたちが夢中で遊べて、親世代への情報発信にもつながっていく。

鈴木委員長 具体的に提案いただいたが、歴史についての情報発信というイメージでしょうか。

鈴木(達)委員 過去から現代の文化までをイメージしている。金沢区に関する単純な案内機能も含めてです。

赤江委員 P.22の修正版の表について、「望ましい機能」「想定されるスペース」は前回に比べて非常に整理されて見やすくなりました。

「重視する視点との関係」のところは、何のために区民文化センターができ

るのかという説明の意味では良いと思うが、例えば視点3のところだと、「多彩な分野の文化・芸術」という表記となっている点が残念と感じました。P. 20には「多様な世代・多彩な分野の文化・芸術」とあって、前回の話の中にもありましたが、ソーシャルインクルージョンの様な、多様な人々が参加する、参画するというようなことも視野に入れるべきで、その点が反映されるとよろしいかなと思いました。

また、今更になるが、P. 20の視点3について「多様な世代」だけで良いのか疑問に思いました。業界等でもよく使う言葉は「多様な人々」であり、この方がよろしいのではないのでしょうか。検討いただければと思います。

三輪委員 構成の内容についての確認になるが、P. 22の「重視する視点との関係」が何回も同じものが出てくる。考え方として、重視する視点があって、それに呼応した望ましい機能がでてきて、その機能として想定されるスペースがあつての運用だと思う。P. 22-24の整理は、もう少し一体的に表現できないのか。概念的には、1番左に視点1～5があつて、そこから望ましい機能に線が引かれて、それに対応して必要なスペース、それに関連した運用というように整理していかないと、機能や運用が何のために必要なのか分からなくなる。全体の横のストーリーが無いと、モノの設計や場を生み出すことのイメージがつかない。望ましい機能が先に出てきて、そこにスペースがくると、スペースと内容に物凄く固執してしまう印象を受けました。その辺の構成整理ができないか。

また、P. 22でいきなり「音を出す発表や練習」が示されているが、各論過ぎるのかなという気がしている。1番下の「文化・芸術の情報発信や交流」が全部にかかる重い内容であるため、重視する視点の整理のように、1番大きく、全体に関わってくるところが最初に来て、細かい内容としてその下の順番で整理された方がしっくりくると思いました。

浅葉委員 機能に関しては、十分な機能があると感じました。その上でやはり、この開館後の企画をどう立てるか、どう運営していくかに、勝負が掛かっていると改めて感じました。これだけの機能があれば、ある程度のことはなんでもできるなと感じました。

その上で、先程鈴木(達)委員がおっしゃった、過去から現在、未来にまでを兼ね備えた紹介ができるようだといい。デジタルのお話は、チームラボの取組みですか。

鈴木(達)委員 ゲーム用センサーが上に置いてあって、プロジェクション投影した池に魚が泳いでいて、その魚を子どもが追いかけると逃げたりするような仕掛けがあつて、あまり広いスペースは多分取れないと思うが、壁面などに子どもを遊ばせる工夫ができれば面白いだろうなと感じました。

浅葉委員 面白そうですね。例えば、子どもが参加できるデジタルなゲーム感覚で体験できるコンテンツは、この辺ではあまりないので注目されるし、楽しいと思います。

鈴木委員長 細かいところまで現時点では議論できない部分もあるが、重視する視点1の部分について、必ずしも金沢区の文化芸術に限定されるものでなく、歴史や金沢区らしさまで広がった視点ですが、望ましい機能の中で「文化・芸術の情報発信や交流」という形で限定されているところに対してのご指摘と思う。

書き方を改めるか、歴史など金沢区らしさの情報発信みたいな項目が別立てになるかというような方向性もあるのかなと思った。

津軽石委員 前回に比べて大分分かりやすくなっている。先程の三輪委員の話を受けて、P.21のイメージ図について、「望ましい機能」と「事業（施設）運営の方向性」が並列で並ぶよりは、一貫性をもって縦に並ぶような、縦軸関係になるのかなと思った。

次の話にも関係あるが、上段の方向性から逆にしてみると、例えば、センター機能がどこに入るのか。それから、重視する視点の多様性の部分は、機能の中にどのように表現されるのか。前後の整合性をもう一度見直していただけると良いと思います。

鈴木委員長 基本的な方向性については、今回で全部決めきらなければいけないのか。次回で最終的な内容の確認というスケジュールか。

区政推進課長 今回の第2回までと考えておりました。この委員会で最終的に答申をいただき、それを受けて我々が基本構想をつくることとなりますので、その答申案の構成までを本日決めていただきたいと思います。

そのため、項目の1つ1つはなるべく今回までに固めて、流れ等については答申の構成の方で生かしていければと思います。

鈴木委員長 事業（施設）運営の方向性についても、ご質問をいただければと思います。

津軽石委員 事業（施設）運営の方向性の☆1の2項目目「近隣の・・・」については、センター機能の内容だと思うので、本来は☆2に入るべき内容ではないか。

また、センター機能の役割を担う場合には、指定管理のあり方等も最終的には関わってくる。例えば、区民文化センターに企画運営部門があって、公会堂の自主事業もやれるというように、関係施設が1つ運営形態になることが望ましいのかなと思うが、費用面も色々かかり、現実的にできるのであればそこまで踏み込んで書いた方が良いと思うが、その辺はどうお考えなのでしょうか。

区政推進課長 各地区センターやコミュニティハウス等も含めた運営としてのセンター機

能の役割を、区民文化センターが担うというのは、現時点の行政の考え方では、非常に難しいと思います。

それぞれに事業担当者がいて、運営主体の壁はあるかもしれませんが、アウトリーチの場としてまずは利用しながら、交流を図っていくイメージを現時点では持っているところです。

赤江委員 私は県の施設にありますが、文化政策の上では、費用軽減やノウハウの共有など、普段からよく連携をやっている。この資料の連携は区の中で留まった連携を書かれているが、もう少し広く考えても良いのではないか。

☆2のセンター機能に書くのか分からないが、そういう視点でみると、4項目目の「文化活動団体と連携した」の文言は、「文化活動団体・他施設と連携した」にしても良いのではないか。

あと、新しい区民文化センターをつくるということは、他の文化施設をどうしていきたいのか合わせて考えていかなければならないと思っています。また、区民文化センターが出来た際に、長浜ホールや公会堂はどうしていくのか。そういう意味では、やはりハブ機能として、事業担当者がいて、そこを繋いでいくということは必要だと思います。

また、老朽化が必ず来るため、その際は一時閉館をしなければならない。その際に機能の補完という連携は必要だと思います。

鈴木委員長 具体的なご指摘をいただいて、おっしゃる意味からすると、☆3の2項目目の「専門的に支援できる」となっているが、施設間をつないでいくことも含めたコーディネーター人材となるのかもしれない。

鈴木(達)委員 区民文化祭は、公会堂と区役所の施設を中心に利用されているが、地区センターなどに広げてやられたらどうかと思っていました。また、公会堂の運用ルールでは、多目的室と会議室などで異なっていて、展示等で使う際には工夫が必要という議論を聞いた。また、ギャラリーが足りないという議論があるが、これも地区センターなどに広げるとか。また、長浜ホールも音楽をやる方には評判がいいが、交通手段が提供されていないとか、市大のホールの応募はファクスとなっていたり、その辺をこれからどうしていくかというところを総合的に取組んで、まず区民文化祭で具体的なところを示せたらいいと感じている。

北原委員 私の法人の方で、横浜北部4区の文化施設の連携・情報発信のお手伝いをさせていただいているが、非常に強く感じる事として、自主企画は情報発信において一番力が入っていることです。

センター自体の魅力や価値、特徴付けという意味でも、自主企画はかなり大きな部分ではないかと思っています。資料では、その辺が割と下の方に書か

れていて、センター機能、場や機能の提供、連携等が重視されているが、実は施設自体の魅力は自主事業によって培われるものだと思います。自主企画の置き方を検討していただくと良いと思いました。

阿部委員 区民文化センターは指定管理者制度で運営されると書いている。金沢公会堂を運営する相鉄の依頼で、公会堂の自主事業としてコンサートを開いたことがある。先日、自主事業をやりたいと公会堂に相談に行ったが、お金の関係で意見が合わず諦めかけたが、できることになった。ただし、基本の音響等以外の利用は、オペレーター等の料金が別に発生するとのことで、小さな団体としてはきついと感じた。

区民文化センターが指定管理者制度で運営されるのであれば、音響や照明等の専門家を置くことに対しての、区からの援助ができないのかと思っている。利用者の出費を増やさなければベストなものできないというような、その辺は少し配慮していただきたい。

金沢区には、いろいろな文化がありますので、公会堂と金沢区民の文化を担っている皆さんとで、色々相談できる場があって、自主事業をもっと沢山開けたらいいなと思います。金沢公会堂に自主事業の数を聞いたら、かなり少なかった印象がある。

鈴木委員長 ホールを持った指定管理の場合、専門的な人材の配置を求めているのでしょうか。

区政推進課長 区民文化センターにその機能があれば、指定管理者の募集の中にそういう記載を入れていくことになる。

三輪委員 今の一連の話を聞いて、P.22の「望ましい機能」について、例えば職員の方々が日常の延長線でちょっと打合せをするような会議室というのは事務室内には想定されていないが、それが実は大事だと私は思っている。例えば、フラッと地区センターに人が来て相談にのるような、事務スペース横にそういう窓口業務も兼ねている設えを設定しないと、単なる貸館の窓口を想定しているイメージになってしまう。

会議室という書き方がよいのかはわからないが、少なくとも「文化・芸術の情報発信や交流」のところや、歴史や金沢らしさの発信だったり、ハブ役としての情報の流通のための諸室みたいなものが、きちっと望ましい機能として位置付けられていないと、次の設計段階で、今皆さんが議論している内容がうまく回らないのではないかと思います。

また、専門人材の配置と人材育成についても、会議室はもちろん創作ワークショップも兼ねるが、小さくても指定管理者が専有できるスペースを確保した上で、情報の拠点となり得るような書き方を示しておいた方がいいのではないかと思います。

2点目で、前回の議論の中で、(地上)屋外スペースは、イベントが無くてもフラッと立ち寄れる設えが大事という議論をしていたが、屋外スペースはイベントをするためのスペースという書き方になっていて、通りすがりの人の受け皿となる屋外スペースという書き方では、印象が全く異なる。現在の文言では、想定されるスペースが短絡的過ぎるため、情報発信だけじゃない、とまり木機能的なスペースが必要で、「望ましい機能」と「事業(施設)運営の方向性」が行き来できるような形の想定されるスペースの書き方が良いのではないかと思います。

鈴木委員長 私としても、カフェ的な、1人でもフラッと来られるような、ベビーカーを押しているお母さんが一人で来ても、そこに居場所が持てるような場所をイメージして前回お話していました。「望ましい機能」からダイレクトで想定されるスペースということで、かなり限定して書いてしまっている印象を受けました。前段の議論がスパッと抜け落ちている感じがするので、カフェの様な機能は、打合せスペース的な使い方もできるし、若干ギャラリー的な機能を兼ねる部分もあるだろうし、交流的な機能も持てる。先程の事務局の会議スペースは、空き時間があれば貸出し用としても兼ねられるというような、ある程度機能をオーバーラップさせていかないと、今回の場合は面積的な余裕もないので、その辺を読み取れるようにしておく必要があると思います。現在のままでは、答申をみて、設計提案する人達を読み取れなくなってしまう可能性があると思います。

浅葉委員 指定管理者制度について、契約期間の途中で審査を行って、その実績次第では指導などもできるのか。

区政推進課長 年度毎に検証はやっていきます。

鈴木委員長 私は他で指定管理者の委員会にも出ているのですが、年度毎に振り返りや評価を行って、ユーザーアンケート等も実施して、運営改善に反映させているところが多いです。多分、指定管理者を募集する際に、そういった取組を義務づける形になると思います。

赤江委員 指定管理者の立場からのお話になるが、私どもは県から5か年の指定管理の設定期間があり、4期継続しています。募集の際の仕様書に、その辺は記載されており、事業の見直しは1年間毎に行っています。年度協定書の中に課せられている評価は非常に重要で、自己評価・外部評価・県評価があり、厳しい目でみられています。

鈴木委員長 何らかの形で、ユーザーとの意見交換の場が設けられることが望ましいのかなと、それにはアンケートや協議会的なものなど、議論の余地はあると思います。

赤江委員 神奈川県民ホールでは、利用者懇談会というのをやっています。

津 軽 石 委 員 望ましい機能は、不足している部分があると思います。例えば、文化・芸術の情報発信や交流という、一括りにするだけではなく、事業（施設）運営の方向性にある、専門人材の配置とか、一人だけではなくて、団体そのもの、あるいは地域の文化をレベルアップさせるというような、志しがあるのではないかなと思います。そのような機能がもう少し表現されていたら良いと思います。

あと、プロジェクションマッピング等の話も出たので、部屋の中の機能だけではなくて、外に発信するような、壁面を使った演出なども考え得るのかなと思いました。

また、区民との懇談会というような話があったが、交流だけでなく、利用者と共に育っていく施設、強化し合うような運用の方向性なのかもしれない。区民の意見を取り入れるような仕組みもあっていいのかなと思いました。

なお、「連携」という言葉は非常に曖昧な言葉で、もう少し具体的に書いた方が良いのではないか。関連する会議体・連合体等の仕組みがあった方が、センター機能としての役割が果たせるのではないかと思いました。

北 原 委 員 事業（施設）運営の方向性に連携という言葉が4～5箇所使われている。使いやすい言葉は色んな意味に取られるので、どういう意味を持った連携なのか、具体性を持って言い換えられるとイメージがつくのではないかと思いました。

阿 部 委 員 先程の話で、利用者懇談会があると良いと思いました。旧金沢公会堂を子どもの頃から利用していたが、職員の方々との懇談会という機会はなかったと思いますので、是非、区民文化センターには提案したいです。

鈴 木 委 員 長 概ね意見が出揃ったように思います。私の方で方向性をまとめさせていただきたいと思います。

① 構成の見直し

「重視する視点」、「望ましい機能」、想定されるスペースが連携するようなまとめ方が出来ないか。

② 「望ましい機能」の修正

重複している部分や、視点1の金沢らしさを情報発信していく部分が想定されるスペースから抜け落ちているというご指摘がありました。

屋外スペースについて、とまり木機能のような一人で来た方の受け皿となるような想定スペースについても省略し過ぎではないかというご指摘がありました。

③ 「事業（施設）運営の方向性」の修正

連携が区内に限定されている。他の施設、区内外、県や市の枠組みを超えた他施設との連携というのもあるのではないかとのご指摘も頂きました。

コーディネーターの役割について、文化事業やアートプロジェクトに限定されているが、施設間連携等も有るため、前段の1項目目と絡めて明確にしてはというご指摘がありました。

④ センター機能について

自主事業の位置付けについてのご指摘がありました。

⑤ 「連携」の文言について

具体的な連携を示してはどうかというご指摘がありました。

⑥ 管理のあり方について

利用者と共に作り上げていくようなイメージを入れていったらいのではないかとご意見がありました。ユーザーとの意見交換など。

ほかにカフェ的な機能が漏れていると思う。

三輪委員 P.25 のまとめられた図式中の事業(施設)運営の方向性にまとめられている文言は直されるという認識で良いか。なぜかという、1項目目の「金沢区の特性を踏まえた区民文化センター」というのが、表現としておかしくないか、4つのタイトルが大事に扱われていくのであれば、P.23の☆と・の修正してもらって、大分内容が変わるだろうと思っています。

その辺について、あまり議論しなくて大丈夫なのでしょうか。

例えば、センター機能としての役割の発揮も1～2つに分けた方がいいのかなと、専門人材の配置と人材育成についても、もう少しコーディネーター的な役割みたいなものが入ってきた方がいいのかなど、公共施設としての役割の発揮は☆1に近いような内容も入っている。この並びのヒエラルキーが分かりにくいなと思っています。

区政推進課長 P.25 のコンセプトの部分は、今回の議論でいただいたご意見を踏まえて、修正するべきところは修正していきたいと思っております。

鈴木委員長 P.25 は前段の議論を総括した表現となる認識で良いか。

北原委員 「街」「まち」の使い分けがあるのでしょうか。

区政推進課長 区民文化センターを議論する中で、ハードと人々の交流等のソフトも含めた表現としては平仮名の「まち」を用いており、駅前周辺等を指すハード的な場合には、漢字の「街」を用いている。

鈴木(達)委員 私どもの協会では、こんな施設をつくって欲しい等の意見があるが、この検討委員会ではあまりそのような意見は求めているのか。

区政推進課長 今回の基本構想検討委員会では、その議論の1番最初となる段階であり、ま

ずはコンセプトや方向性等をご議論いただき、答申として横浜市にいただくこととなります。その中にはもちろんご意見をいただいて「望ましい機能」や「事業（施設）運営の方向性」を検討いたしますが、具体的な細かい施設の議論というのはなかなか難しいと思います。

鈴木委員長 コンセプトに「金沢区らしい、まちに開かれた」という文言は素晴らしいが、具体的に街に開くにはどうすればいいのかということが、前段の議論で見えにくくなっている気がします。例えば、屋外スペースをどうするかという点など、1階部分にどういう機能を持たせるのかが、街に開く具体的なことに繋がってくるので、その部分については、全体の構成の中で分かりにくいと思います。先程、ご指摘を整理した内容につけ加えて、街に開くことが分かるような構成に、特に1階部分をどうするのが読み取れるようなまとめ方をしていただければと思います。

鈴木委員長 P.25までのところで、何か追加のご意見はありますか。

— 同（特になし）

鈴木委員長 それでは、次回までに構成・文言の見直しを進めることでよろしいか。

— 同（異議なし）

鈴木委員長 前回委員会で決定した、重視する視点の3項目目については、「多様な世代」について「多様な人々」への文言修正について、ご了承いただけますでしょうか。

— 同（異議なし）

鈴木委員長 次に、議事の3 答申の構成案についての議論に移ります。事務局から資料の説明をお願いします。

事務局 資料3について説明

鈴木委員長 ご質問があればお願いします。最終的には横浜市に答申書として渡す構成案になります。いかがでしょうか。

鈴木(達)委員 答申には、部屋の広さ等は出さない形でまとめるのか。

区政推進課長 答申の段階ではそうなります。広さや定員等々については、設計の中で出てくるとは思いますが、その辺の規模感などは引き続き第3回目でご議論いただきたいと思います。

阿部委員 区でアンケートを実施していたと思いますが、音楽室が欲しいとか、具体的な要望があると思うが、その辺が第1・2回目の委員会では出てこなかった

が、第3回目以降ではそのような意見も教えてもらえるのか。区民の意見も踏まえて議論できればと思っております。

区政推進課長 第1回目の委員会資料(5・6)で区民のご意見はお示しさせていただいております。

三輪委員 答申の構成案の中には、前回第1回の資料で出てきた市民意見の結果については、参考資料あるいは答申第1章などに出てこないのか。

区政推進課長 今の段階では、入れる想定ではございません。区のホームページでアンケート結果を公開している状況です。

三輪委員 基本構想では、具体的なスペースが何㎡みたいのところまでは書き込まずに、これくらいの機能と諸室が必要だという整理をする必要があると思うが、もちろん委員会の元になった情報や資料があって、それを整理して、その上で、例えば、音楽多目的室とギャラリーが柔軟に連動していた方がいい、或いははっきり分かれていた方がいいというような話は、次の設計をする段階で、使い方のイメージとボリューム感までを、答申第3章で示す認識で良いでしょうか。

区政推進課長 おっしゃる通りです。

三輪委員 そうすると、アンケートは別紙ではなく、検討のネタとしてちゃんと整理して、構成の中に入れてもいいのではないかと思います。いわゆる根拠です。

鈴木(達)委員 規模とかは示さないのか。例えば、何人程度入れるのかとか、我々の協会では色々意見が挙がってきているが、基本構想ではあまりしないということではよいか。

区政推進課長 全くボリュームを語らずに必要諸室を議論することは不可能なので、全く載せない訳ではない。ただし、具体的に何㎡とは示せません。

津軽石委員 区民の意見については、なぜ区民文化センターが必要なのかという説明には重要であると思います。

基本構想は Plan do のちょっと手前ぐらいまでを書いていて、check action の様な、評価して改善して、区民と共に育てていくんだというようなコンセプトが最後にあってもいいのではないかと思います。

鈴木委員長 大きく考えると、音楽多目的室とギャラリーが中心的な機能になるので、どちらを主に考えるべきかを示さないと、設計者も設計できないのではないかと思います。例えば、建築計画的に、音楽多目的室でホール的な設えとする場合は、その舞台と同等の練習室が無いと機能しない。そう考えると、大体何人規模ぐらいのというのは、方向性として示した方がいいのではないかと思います。何人規模というのは正直難しいと思うが、ある程度の規模感みた

いなものは、望ましいという形でも示しておいた方が良いのではないのでしょうか。

区政推進課長 実際に、あの土地の中にどれくらいの施設が建築可能かは検討しており、可能なスペースもかなり限られています。その中で、部屋の設定等について、細かく数字まで示すのは難しいと思います。考える元となる規模感は、次回の委員会までに示したいと思います。

鈴木委員長 全く数字を抜きにして議論してもイメージが共有できないので、最終的に数字を入れるかどうかは別として、大体のイメージを共有した上で議論したら良いのではないかと思います。

鈴木委員長 その他、よろしいでしょうか。

一 同 (意見なし)

鈴木委員長 それでは、今回示された構成を最終的なイメージとして、議論していきたいと思います。最終的な取りまとめについては、次回委員会でまとめるということで、答申の構成案についてご了承頂けますでしょうか。

一 同 (異議なし)

鈴木委員長 続いて、議事の4に移ります。事務局から資料の説明をお願いします。

事務局 **資料4**について説明

鈴木委員長 何かご意見等ございますでしょうか。

一 同 (意見無し)

鈴木委員長 それでは、金沢区区民文化センターニュース第2号案については、案のとおり、決めてよろしいでしょうか。

一 同 (異議なし)

鈴木委員長 本日の議事はすべて終了しました。事務局におかれましては本日の意見を取りまとめていただき、次回の委員会でお示しいただければと思います。それでは、進行を事務局にお返しします。

区政推進課長 本日は活発なご議論を賜りまして、ありがとうございます。本日頂戴しましたご意見を取りまとめ、次回の委員会にてお示しいたします。これにて本日の委員会は終了とさせていただきます。本日はお忙しい中、長時間に渡り誠にありがとうございました。

閉会

<p>資 料</p> <p>・</p> <p>特記事項</p>	<p>1 資料</p> <p>資料 1 第 1 回委員会での議論内容の確認</p> <p>資料 2 金沢区における区民文化センター整備の基本的な方向性について</p> <p>資料 3 答申構成案について</p> <p>資料 4 金沢区区民文化センターニュース 第 2 号 (案)</p> <p>2 特記事項</p> <p>・ 次回 日時：令和 4 年 11 月 14 日 (月) 13 時から</p> <p>場所：金沢区総合庁舎 5 階 1 号会議室</p>
---------------------------------	---

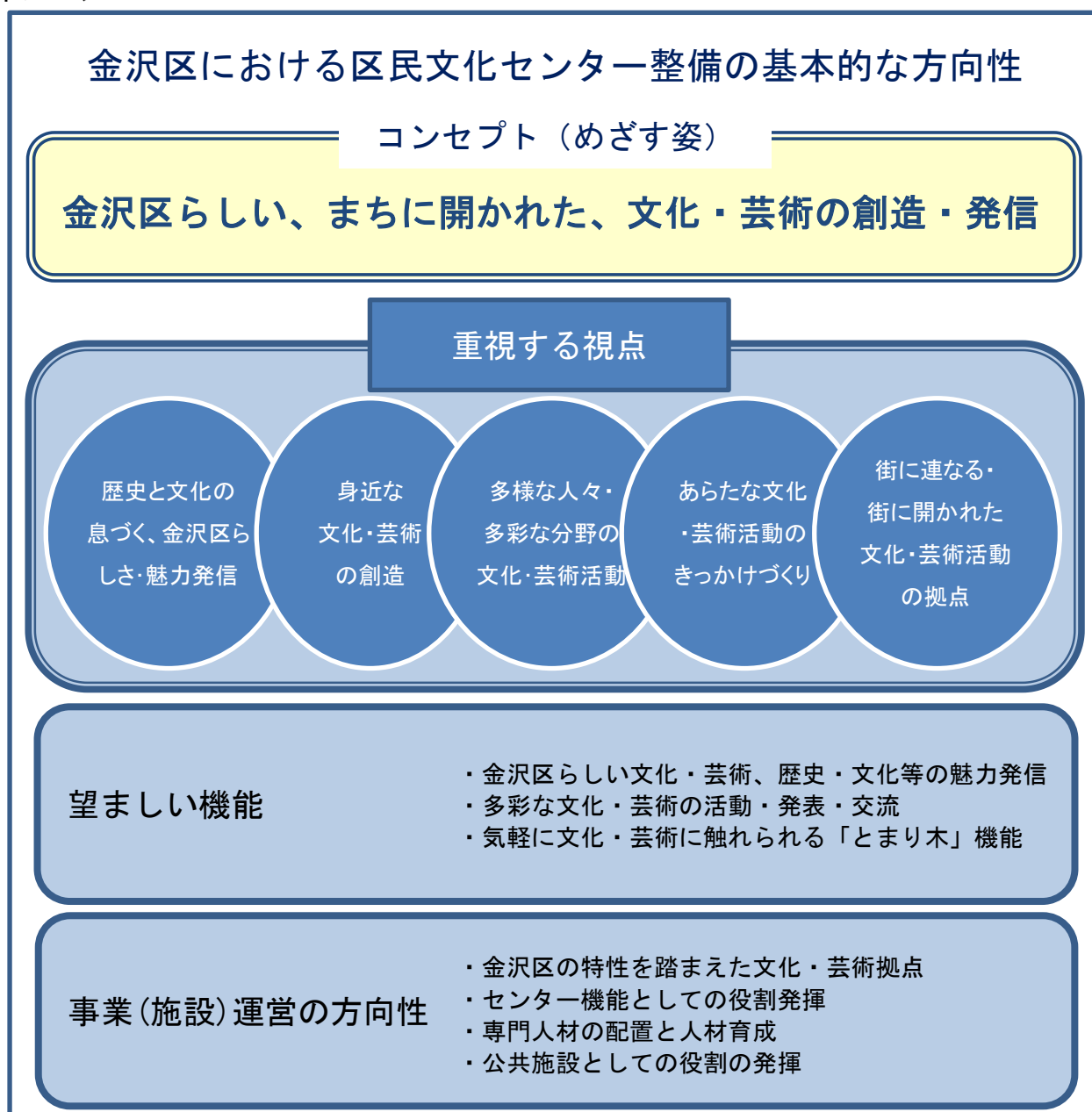
●基本的な方向性について

1 コンセプト（めざす姿）【修正版】

金沢区における区民文化センターがどのような施設となることを目指していくか、その将来像をコンセプト（めざす姿）としてまとめると、次のとおりと考えられます。このコンセプト（めざす姿）を実現するため、「重視する視点」、「望ましい機能」、「事業（施設）運営の方向性」を設定します。

金沢区らしい、まちに開かれた、文化・芸術の創造・発信

イメージ



2 重視する視点【確定版】

金沢区の特長、整備候補地と周辺施設との状況、区民文化センターと他の区民等利用施設の役割、区民の文化・芸術活動の取組状況などを鑑み、様々な観点から「重視する視点」としては、次のように考えられます。

この視点に沿って、区民文化センター整備に向けた基本構想の策定や設計などが進められます。

☆〔視点1〕歴史と文化の息づく、金沢区らしさ・魅力発信

〔視点の背景〕

- ・ 六浦・金沢のエリアは、鎌倉時代には幕府の外湊（六浦津）^{そとみなと むつうらのつ}として開かれ、鎌倉へ続く朝夷奈切通しは、やぐら群が残るなど往時の姿を比較的良くとどめており、人の営みと自然が一体となった景観は、都市開発の進んだ横浜において大変希少です。金沢北条氏の残した称名寺や金沢文庫と併せて、区内に残された歴史的・文化的資産を巡る人が絶えないエリアです。また、称名寺・金沢文庫所蔵の文物を中心として、横浜市内では金沢区に最も多くの文化財があります。
- ・ 金沢～富岡の旧海岸沿いのエリアには、都心近郊に位置する風光明媚な海浜風景を目当てに、明治期には都心部で活躍する政治家や実業家の別邸・別荘がいくつも建てられ、周辺には料亭なども並びました。旧伊藤博文金沢別邸を残す野島公園や川合玉堂別邸庭園など、形を変えつつ、いくつかは今もその姿が残され、多くの区内外の人々が親しんでいます。
- ・ 金沢・釜利谷のエリアは、丘陵地に豊かな緑地を抱え、金沢自然公園などと併せて、区内外の多くの人々が自然的資産に親しんでいます。また、金沢八景駅西口には、権現山・御伊勢山を後背に、江戸期には海に面して東照宮がありました。東照宮を訪れる上客のための休憩所であった旧円通寺客殿を残し、樹林地と併せて令和4年4月に金沢八景権現山公園として開園しました。現代的な駅舎のすぐそばにたたずむ、かつての海岸線近くにあった丘陵の名残を感じさせる公園です。
- ・ 金沢八景駅及びその周辺は、人の往来・交通の結節点となっています。
- ・ 金沢区の魅力である歴史と多層的な文化を、結節点となる区民文化センターから発信することにより、金沢区らしい文化・芸術活動の拠点となります。

☆〔視点2〕身近な文化・芸術の創造

〔視点の背景〕

- ・ 文化・芸術活動をしている区民の、地域における普段の活動の場、発表の場。
- ・ 区民文化センターは、地域に根差した個性ある文化の創造に寄与するために、設置される「地域文化芸術活動の拠点」です。
- ・ 区民文化センターの中心的な役割の一つである、身近な場所で文化・芸術に触れる機会の提供。

☆〔視点3〕多様な人々・多彩な分野の文化・芸術活動

〔視点の背景〕

- ・ 区内には高齢者が比較的多く、多様な経験を持った区民の地域における活動。
- ・ 区内には2つの総合大学が立地し、10～20代の若者世代の滞在が比較的多い。
- ・ 区民文化センターに期待される役割のひとつである、ソーシャルインクルージョン[※]の推進。
※誰もが、社会、地域社会の一員として包括され、生きがいを持って生活することのできる状態を目指す芸術文化による取組のことを幅広く指します。
- ・ 様々な国を背景に持つ方が活動・参加しやすい環境をつくることにより、多彩な文化・芸術活動を推進。
- ・ 従来から盛んな展示系・音楽系の活動のみならず、あらたな分野の活動にも対応した環境づくり。

☆〔視点4〕あらたな文化・芸術活動のきっかけづくり

〔視点の背景〕

- ・ 身近な地域で、文化・芸術活動を新たに始める又は再開するきっかけやアートを通じた交流の場の提供。
- ・ 文化・芸術活動に関わる子どもをはじめとした次世代の育成と活動・参加しやすい環境づくり。
- ・ 区民文化センターの中心的な役割の一つである、身近な場所で文化・芸術に触れる機会の提供。
- ・ 地域における文化を介したネットワークの形成をけん引。
- ・ 区民文化センターに期待される役割のひとつである、ソーシャルインクルージョンの推進。

☆〔視点5〕街に連なる・街に開かれた文化・芸術活動の拠点

〔視点の背景〕

- ・ 区民文化センターの中心的な役割の一つである、身近な場所で文化・芸術に触れる機会の提供。
- ・ 区民文化センターから周辺の街への「にじみ出し」。
街に開かれたデザインの工夫、建物内の動線・配置の工夫、自主事業の効果的な企画と情報発信。
- ・ 気軽に立ち寄り、文化・芸術に触れて関心が持てる場の提供。
- ・ 金沢八景駅の東側では、土地の区画整理やシーサイドラインの延伸などによって街の姿を大きく変え、平成31年までにおおむねの街の整備が完了しました。区民文化センター整備は、駅前の商業地域内にある市保有の土地を活用できます。
- ・ 金沢八景駅及びその周辺は、人の往来・交通の結節点。

3 金沢区における区民文化センターに望ましい機能について【修正版】

金沢区の特徴、整備候補地と周辺施設との状況、区民文化センターの役割、そして区民の文化・芸術活動の取組状況や区民に望まれている機能などを鑑み、金沢区における区民文化センターに望ましい機能は次のとおりと考えられます。

重視する視点	望ましい機能	想定される機能	想定されるスペース
☆〔視点1〕 歴史と文化の息づく、金沢らしさ・魅力発信	金沢区らしい文化・芸術、歴史・文化等の魅力発信	金沢区らしさ・魅力の情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 文化・芸術活動や歴史・文化の情報発信・共有ができる情報コーナーやエントランススペース
☆〔視点2〕 身近な文化・芸術の創造 ☆〔視点3〕 多様な人々・多彩な分野の文化・芸術活動 ☆〔視点4〕 あらたな文化・芸術活動のきっかけづくり	区民の文化・芸術の活動・発表・交流	音を出す発表や練習 作品の展示や制作 文化・芸術セミナーやアート講座 文化・芸術の情報発信や交流	<ul style="list-style-type: none"> 音を出す（音楽、演劇、ダンス等）発表やグループでの練習ができる音楽多目的室 個人や小グループが音を出す（音楽、映像等）練習などができる防音室 作品の展示や制作、創作ワークショップができるギャラリー セミナー、アート講座、創作ワークショップができる会議室 文化・芸術活動の情報発信や、多様な団体とコミュニティをつくりやすい交流ができる情報コーナー 創作ワークショップや作品展示、イベントができる屋上などの屋外スペース
☆〔視点5〕 街に連なる・街に開かれた文化・芸術活動の拠点	気軽に文化・芸術に触れられる「とまり木」機能	文化・芸術の情報発信や交流	<ul style="list-style-type: none"> 誰でも気軽に文化・芸術に触ることができ、交流や相談ができる情報コーナーやエントランススペース、事務・受付・会議スペース 気軽に立ち寄ることができるエントランススペース・アプローチ等の屋外スペース

4 事業（施設）運営の方向性【修正版】

多様化する市民ニーズにより効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間のノウハウを活用しながら、市民サービスの向上と経費の節減を図ることを目的に、区民文化センターは指定管理者制度で運営されます。

将来的に金沢区において整備される区民文化センターを運営していくために、検討しておく「運営の方向性」としては、次のとおりと考えられます。

重視する視点	事業（施設）運営の方向性
<p>☆〔視点1〕 歴史と文化の息づく、金沢らしさ・魅力発信</p>	<p>☆金沢区の特性を踏まえた文化・芸術活動拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的・文化的資産が多く、また交通の結節点という金沢八景駅前の立地を生かした、金沢区の歴史的・文化的な情報の提供。 ・ 金沢公会堂や金沢地区センター等と連携した企画・運営の可能性。場所や機能のすみ分けと連携。 <p>金沢公会堂（講堂、多目的室、会議室、和室ほか）、金沢地区センター（会議室、和室、プレイルーム、料理室、体育室ほか）</p>
<p>☆〔視点2〕 身近な文化・芸術の創造</p> <p>☆〔視点3〕 多様な人々・多彩な分野の文化・芸術活動</p> <p>☆〔視点4〕 あらたな文化・芸術活動のきっかけづくり</p>	<p>☆センター機能としての役割の発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な立場の人が興味を持ち参加しやすく、身近な場所で気軽に文化・芸術に触れることができる場の提供及び自主事業の効果的な企画と情報発信。 ・ 文化・芸術活動、歴史・文化等の多彩な分野、利用者・団体間等、これらをつなぐハブ機能の発揮。そのための交流・相談しやすい仕掛けと雰囲気づくり。 ・ 積極的なアウトリーチ活動の企画・情報発信。文化活動団体や他の市民利用施設等と連携した企画・運営の検討。 ・ 区民文化センターに期待される役割のひとつである、ソーシャルインクルージョンの推進。 ・ 文化・芸術活動に関わる子どもをはじめとした次世代の育成、活動・参加しやすい自主企画・運営等の推進。 ・ 使いやすい利用時間設定等による弾力的な運営。 <p>☆専門人材の配置と人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域における文化を介したネットワークの形成をけん引。 ・ 文化事業、アートプロジェクトなどの文化活動における専門的な支援や区内外の施設間を繋ぐ役割を果たすコーディネーター人材の配置。コミュニケーションを促す運営として、交流・相談しやすい仕掛けと雰囲気づくり。 ・ 施設管理者と利用者との交流、利用者とともに育っていく施設運営。

重視する視点

☆〔視点5〕
街に連なる・街に
開かれた文化・芸
術活動の拠点

事業(施設)運営の方向性

☆公共施設としての役割の発揮

- ・ 気軽に立ち寄れて、文化・芸術に触れることができる「とまり木」のような場の提供。交流・相談しやすい仕掛けと雰囲気づくり。
- ・ 金沢八景駅前～周辺エリアのつながり・ネットワークの形成を進めることで、金沢区心部の回遊性を高める拠点の一つとなることに寄与する。
- ・ 災害対応機能の付加及び周辺施設との連携体制の構築。
津波避難（概ね3階以上の建物であること）、駅前という立地から帰宅困難者の一時避難等
- ・ SDGs に配慮した企画・施設運営。

●施設機能・構成について

1 施設全体の考え方

金沢区における区民文化センターの整備にあたっては、基本的な方向性において「金沢区らしい、まちに開かれた、文化・芸術の創造・発信」というコンセプト（めざす姿）が掲げられています。そのコンセプト（めざす姿）を実現すると共に、利用者にとって使いやすい機能やレイアウトに配慮した施設機能・構成となる必要があります。また、他区の区民文化センターと違い、大型複合施設の中に整備されるのではなく、建物全体が区民文化センターとして利用される施設として整備（単館整備）されることを十分に考慮する必要があります。そのため、施設全体の機能・構成には工夫や配慮が必要です。それらに関わる考え方を次のとおりまとめました。

施設全体における配慮事項

- ・文化活動の場として必要な機能を備えた専門的な施設であることが求められます。
- ・文化・芸術活動や金沢区の歴史・文化等の情報を発信、共有できる場であることが求められます。
- ・大規模なホールは、金沢公会堂・講堂の活用が見込まれることもあり、区内市民利用施設に不足している展示スペース（ギャラリー）や小規模な発表ができる諸室（音楽多目的室等）を配置することが求められています。
- ・文化団体の規模や利用者のニーズに合わせ、柔軟に対応できる機能が求められます。
- ・多様な人々・多彩な分野の活動や将来ニーズにも対応できるよう、可変性と柔軟性のある施設活用ができるようにすることが望まれます。
- ・誰もが安心・安全かつ快適に利用できるように、バリアフリー化、ユニバーサルデザインに配慮した施設とすることが求められます。また、デザインの工夫によるわかりやすい施設内表示とすることも望まれます。
- ・（他区の区民文化センターのような複合施設への入居ではない）単館での整備のメリットを十分に発揮し、街に開かれたデザイン、気軽に立ち寄れる雰囲気づくりの工夫、特に1階の機能配置や設えに十分に配慮した施設となることが望まれます。
- ・気軽に立ち寄れる雰囲気づくり、利用者同士の文化活動の交流やコーディネーター等専門人材との相談しやすい仕掛けと雰囲気づくりを目的とした、ドリンク提供等カフェのようなコミュニケーションを促す運営及び什器の設置検討も望まれます。
- ・歩道から建物に入るまでのアプローチ等の屋外空間は、単なる通路としてではなく、誰でも気軽に立ち寄れる区民文化センターの顔として、可能な限りまとまりのある広さ確保して「とまり木」とした役割を発揮すると共に、様々な活用ができるように配慮することが望まれます。
- ・一般利用として利用される部分だけでなく、利用者や指定管理者が使用するバックヤード等にも配慮し、資機材や作品等の搬入・搬出の動線、倉庫の大きさなどは、十分なスペースを確保することが望まれます。
- ・利用者動線と搬出入動線（バックヤード動線）を明確に分け、利用者の利便性に配慮することが望まれます。
- ・金沢八景駅周辺のデザインガイドラインに則した、金沢区らしさを持った魅力的な外観となることが求められます。
- ・デザインの工夫などで近隣の防犯やプライバシーに配慮した計画に努めることが求められます。
- ・駅前の立地であることを考慮し、駐車・駐輪スペースは法令上必要な台数の整備とし、アプローチ等の屋外空間のスペースを確保することが望まれます。
- ・駅前の立地の公共施設であることから、災害時の避難に対応できる機能が望まれます。

2 各諸室の考え方

施設全体の考え方を踏まえ、各諸室及び付属室の内容や整備にあたって配慮すべき点などについてまとめると、次のとおりとなります。

(1) 音楽多目的室

室名等	配慮事項
音楽多目的室	<ul style="list-style-type: none"> ・前室を備えた防音仕様とし、音楽や演劇、ダンス等の練習、発表、ができる舞台性能及び音響性能を確保し、舞台音響・照明・機構を備える。 ・講演会、上映会等もできる機能を備える。 ・100～150席程度の来場者用椅子を並べることができ、あわせて小規模な舞台を設えられるスペースが望ましい。 ・床面は平土間形式とし、演劇やダンス等に適した仕上げとする。 ・来場者と出演者の動線（出入口）を分け、出演者動線（出入口）は、 上手・下手の両方から控室等のバックヤードに移動できるように配慮する。 ・発表利用時の来客の滞留を想定し、前室前のスペース配置に配慮する。 <p>[想定される備品等]</p> <p>客席用・出演者用椅子／舞台照明／舞台機構／音響映像設備（マイク・スピーカー・スクリーン・プロジェクター・音響映像プレイヤー等）／IoT コンセント／Wi-Fi 設備／壁一面鏡張り など</p>
控室	<ul style="list-style-type: none"> ・出演者動線（出入口）及びバックヤードからアクセスできる位置とし、動線に配慮し、音楽多目的室に近接した配置とする。 ・洗面台や化粧前等を備えることが望ましい。
ピアノ庫	<ul style="list-style-type: none"> ・グランドピアノを搬出入できるよう動線に配慮し、音楽多目的室に近接した配置とする。 ・調温・調湿ができる個別空調を備える。
備品庫	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽多目的室で使う椅子等の収納のため、近接した配置とする。 ・バックヤード動線からの備品類の搬出入動線に配慮する。

(2) 防音室

室名等	配慮事項
防音室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6～8名程度の少人数の楽器練習やバンド練習等がしやすい規模を想定し、2部屋程度を設け、前室を備えた防音仕様とする。 ・ 個人練習、軽音楽、バンド練習等を想定するが、映像撮影など音楽以外の音を出す活動に利用できるなど、幅広い活用ができる仕様とするよう配慮する。 <p>[想定される備品等]</p> <p>ピアノ／大型貸出用楽器（ドラムセット・キーボード・音響装置・アンプ類等）／姿鏡 など</p>

(3) ギャラリー

室名等	配慮事項
ギャラリー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵画、写真、彫刻、書、工芸、生け花などの創作活動の展示・発表ができる機能を備える仕様とする。 ・ 標準的な広さ・壁長を備えた規模とし、大型作品も展示できるような天井高さを確保する。また壁面にはピクチャーレールを備える。 ・ 可動式パーティション等により、部屋を分けて使ったり、展示壁面を確保したりできるなど、可変性のある活用ができる仕様とする。 ・ 可変性のある照明演出ができるような設備を備える。 ・ 展示作品の搬出入時の動線を確保する。 ・ 自然光で展示できる設えを検討するなど、多種多様な作品展示への対応に配慮する。 ・ 創作ワークショップ等の利用や映像投影を想定して、ツヤなし・白色の壁を1面は備えるよう検討する。 ・ 床面の仕様はワークショップ等の利用も想定したものを検討する。 <p>[想定される備品等]</p> <p>可動式間仕切／展示用照明設備（ライティングレール、スポットライト等）／プロジェクター／展示机／ピクチャーレール／受付用机・椅子／壁一面ツヤなし・白色／開口部に遮光機能 など</p>
控室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主催者控室としての利用を想定し、ギャラリーに近接した配置とする。 ・ 創作ワークショップ等で利用できる、水道・流し台の設置を検討する。
備品庫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 展示用備品等の収納のため、ギャラリーに近接した配置とする。

(4) 会議室

室名等	配慮事項
会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議、講演会・セミナー、創作ワークショップやアート講座など多機能での利用を想定し、25名程度が入れる広さで2部屋程度を設ける。可動式間仕切等により、2室を一体で利用できる等の可変性を備えた仕様とすることが望ましい。 ・ 創作ワークショップ等の利用や映像投影を想定して、ツヤなし・白色の壁を1面は備えるよう検討する。 <p>[想定される備品等]</p> <p>椅子・長机／可動式間仕切／ホワイトボード／音響設備（マイク）／プロジェクター／ピクチャーレール／IoT コンセント／Wi-Fi 設備／壁一面ツヤなし・白色／開口部に遮光機能 など</p>
備品庫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 椅子・長机等が十分に収納できるスペースを確保し、会議室に近接した配置とする。

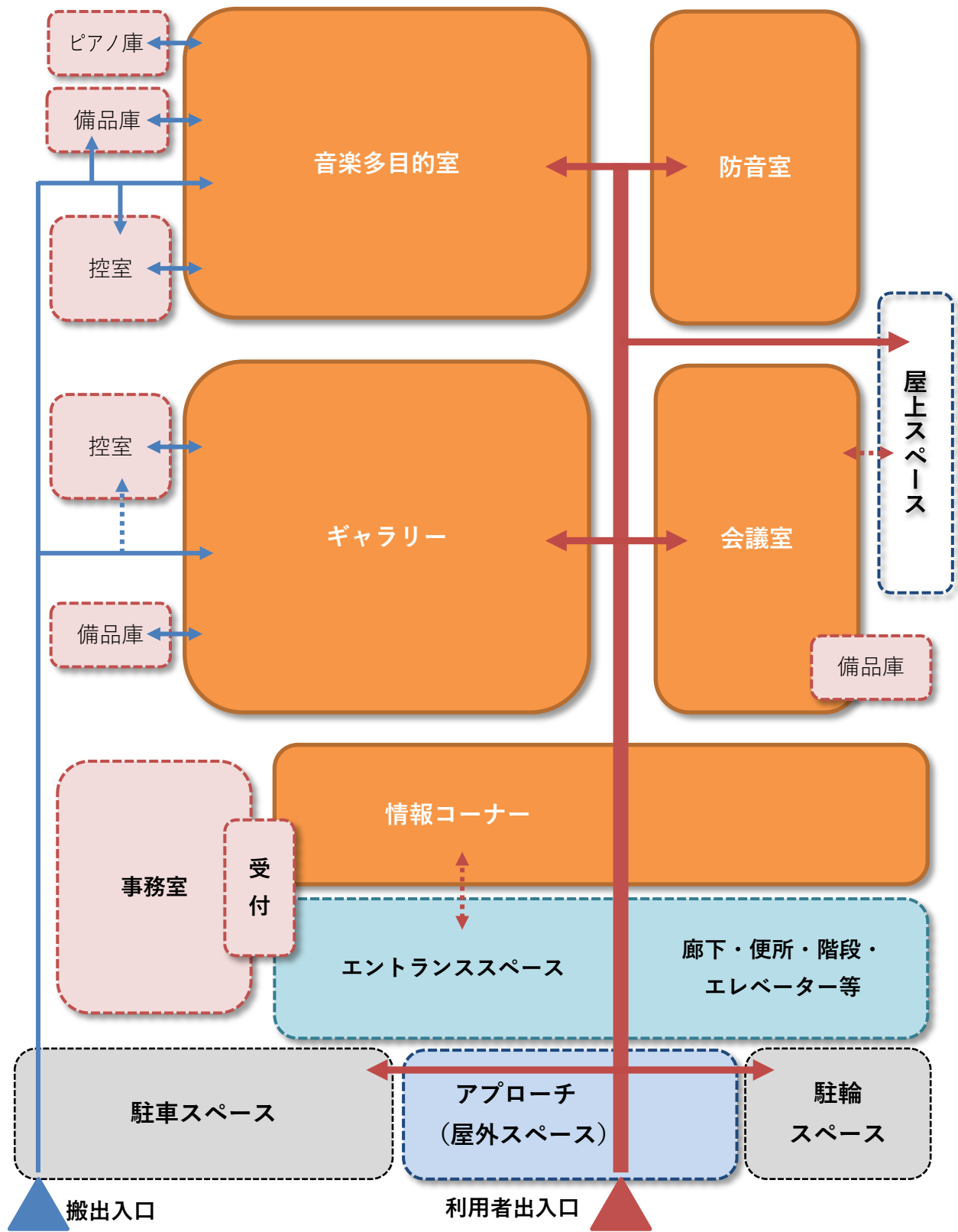
(5) 情報コーナー

室名等	配慮事項
情報コーナー	<ul style="list-style-type: none"> ・ エントランススペースに隣接した外部から見やすい場所に配置し、気軽に立ち寄りやすい開放的な雰囲気の設えとする。 ・ エントランススペースと一体的な活用などができるよう配慮した設えとし、「とまり木」機能としての役割を發揮できるように工夫する。 ・ 事務室と近接した配置とし、利用者同士の文化活動の交流やコーディネーター等専門人材との相談しやすい仕掛けと雰囲気づくりを目的として、ドリンク提供などカフェのようなコミュニケーションを促す運営及び什器等の設置を検討する。 <p>[想定される備品等]</p> <p>パンフレットスタンド／デジタルサイネージ／IoT コンセント／Wi-Fi 設備／スツール・昇降テーブル／冷蔵庫・コーヒーマシン など</p>

(6) その他

室名等	配慮事項	
エントランス スペース	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に立ち寄りやすい開放的な雰囲気・設えとする。 ・金沢八景駅からアクセスしやすく、視認性の高い配置に配慮する。 ・情報コーナーに隣接した配置とし、一体的な活用などができるように配慮する。 ・小規模イベントなどでの活用も想定した設えを検討する。 	
事務室	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者がわかりやすい場所に受付等を配置するとともに、オープンな雰囲気で、気軽に相談等ができるよう配慮する。 ・打合せスペース等は、情報コーナーなど隣接するスペースと併せて柔軟な利用ができるような設え・什器の設置を検討する。 	
屋外施設	屋上スペース	<ul style="list-style-type: none"> ・屋上を創作ワークショップ等で利用できるような設え・設備を検討する。 <p>[想定される備品等]</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">電源／水道・流し台／オーニング（日除け）など</div>
	アプローチなどの 1階屋外スペース	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に立ち寄りやすい開放的な雰囲気となるよう、特にアプローチなど1階屋外スペースとエントランススペース周辺は工夫した設えとする。
	駐車・駐輪スペース	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地の三面が道路に面しているため、駐車・駐輪スペースは歩行者や来館者にとって安全な配置・設えとする。 ・搬出入用駐車スペースからバックヤード・搬出入動線を確認する。 ・駐車・駐輪スペースは開館時間のみ利用できる運用とするなど、来館者の利用が妨げられない仕組みなどを検討する。
トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーであることはもちろんのこと、誰でも使いやすいトイレとする。 ・子育て世代が使いやすいような設備を男女トイレそれぞれに設けるよう検討する。 	

機能配置イメージ



凡例：	— 利用者動線	※このイメージ図は、実際のレイアウトを示すものではありません。
	— 搬出入動線	

金沢区 区民文化センターニュース 第3号(案)

発行：令和4年●月●日

第2回委員会を開催しました

10月17日（月）に第2回委員会が金沢区役所で開催されました。前回に引き続き、金沢区における区民文化センターの基本的な方向性をテーマとし、今回は「望ましい機能」と「事業(施設)運営の方向性」を中心に議論や意見交換を行いました。

また、最終的に委員会でもとめる答申の構成案についても議論しました。



第2回委員会の様子

金沢区における区民文化センターの基本的な方向性について

「望ましい機能」について議論しました

金沢区における区民文化センターに「望ましい機能」について、以下のような意見が交わされました。特に、金沢区らしい文化・芸術、歴史・文化等の情報発信機能や、1階や屋外スペースなどを中心とした気軽に立ち寄って文化・芸術に触れることができる機能などの重要性について意見がありました。

■情報発信機能について

<金沢区らしさの発信>

- ・金沢区の歴史・文化について、プロジェクションマッピング等の視覚的かつ体験的に発信する仕掛けは効果的だと思う。
- ・歴史・文化に限らない、金沢区らしさまで広げた視点での情報発信が必要ではないか。

<情報発信の手法>

- ・区民文化センターの前を通りすぎる人などに向けた、外部に向けて発信するコンテンツ（例えば壁面を使った演出等）も考え得る。

■受付機能について

<相談や交流>

- ・施設職員の日常の打合せや来訪者の相談等に用いるスペースは非常に大切に、単なる貸館の受付だけでない相談や交流といったことを望ましい機能として位置付けておくべきではないか。

■交流機能について

<1階や屋外スペースの使い方>

- ・単なるイベント等への利用だけでなく、通りすがりの人々の受け皿（とまり木）となる機能であることが大事である。
- ・今回の候補地は、面積的にも非常に限られていることから、機能をオーバーラップさせた考え方を示しておくべきではないか。例えば、打合せや展示、交流や相談等のいくつかの機能を兼ねられるカフェのような機能など。

■その他

- ・専門人材の配置や利用者・利用団体の文化のレベルアップなどに通じる機能が表現されたら良いのではないか。

「望ましい機能」については、今回の議論を踏まえて修正、整理して、第3回委員会で引き続き議論をしていきます。

「事業(施設)運営の方向性」について議論しました

区民文化センターの「事業(施設)運営の方向性」について、以下の様な意見が交わされました。さまざまな連携が必要であることやセンター機能としてのあり方などについて意見がありました。

■連携について

- ・区内に留まらない広い視野での連携を考えてもよいのではないか。
- ・長期的な視点でも他の市民利用施設との機能の補完という連携は必要である。

■センター機能について

- ・新しい区民文化センターの検討と合わせて、周辺の文化施設のあり方も検討していくべきではないか。

■専門人材について

- ・コーディネーターに施設間をつなぐ役割も兼ね備えてもらう必要があるのではないか。
- ・音響や照明等の専門家人材を施設に配置できるとよいと思う。

■自主企画について

- ・自主企画は、区民文化センターの魅力や価値、特徴を生む大事な要素であり、重要視すべきだと思う。

■施設管理者と利用者との交流について

- ・施設管理者と利用者との交流等によって、利用者と共に育っていく施設運営のあり方もあるのではないか。
- ・施設職員と利用者との交流の場があると良いのではないか。

「事業(施設)運営の方向性」については、今回の議論を踏まえて修正、整理して、第3回委員会で引き続き議論をしていきます。

第3回委員会を開催しました

11月14日（月）に第3回委員会が開催されました。議論の内容等は次号ニュースにてお知らせします。

委員会スケジュール

委員会は全4回の開催を予定しています。

第1回（実施済）

9月22日（木）
基礎情報の共有及び基本的な方向性の確認、意見交換・議論

第2回（実施済）

10月17日（月）
基本的な方向性、答申構成等についての議論

第3回（実施済）

11月14日（月）
めざす姿、施設機能・構成等についての議論

第4回

12月15日（木）
答申案の議論・確定

※スケジュールは会議の進捗等により変更となる場合があります。
※委員会において決定された答申は市長へ提出されます。



今後も、委員会の様子をこのニュースにてお伝えしていきますので、区民文化センターについてご意見等がありましたら、下記の問い合わせ先に文書（FAX・E-mail）にてお寄せください。いただいたご意見は委員会を進めていくにあたっての参考とさせていただきます。

発行：横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会事務局（横浜市金沢区区政推進課）

〒236-0021 横浜市金沢区泥亀二丁目9番1号

電話：045-788-7729 FAX：045-786-4887 E-mail：kz-kusei@city.yokohama.jp

ホームページ：https://www.city.yokohama.lg.jp/kanazawa/kurashi/machizukuri_kankyo/machizukuri/kubunkentou.html



●答申構成について

構 成	備考
はじめに	
目次	
第 1 章 区民文化センター整備の検討にあたって前提となる事項 <ol style="list-style-type: none"> 1 区民文化センターの概要 2 金沢区の概要と特性 3 金沢区内施設・近隣施設の利用状況 4 金沢区における区民文化センター整備の考え方と候補地の概要 	第 1 回委員会資料を基に作成 (区内施設・近隣施設の利用状況等の調査結果や区文にあれば使いたい機能の意見募集結果なども含む)
第 2 章 金沢区民文化センターのめざす姿について <ol style="list-style-type: none"> 1 コンセプト (めざす姿) 2 重視する視点 3 望ましい機能 4 事業 (施設) 運営の方向性 	<div style="border: 2px solid gray; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> 前回及び 今回議論 </div>
第 3 章 施設機能・構成について <ol style="list-style-type: none"> 1 施設全体の考え方 2 各諸室の考え方 	<div style="border: 2px solid gray; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> 今回議論 </div>
参考資料 <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会条例 ・横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会運営要綱 ・横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会委員名簿 ・横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会検討経緯 ・市民意見募集の結果概要：『区民文化センターに望む機能（どんなことをできる場がほしいか）』 	第 1 回委員会資料を基に作成